

令和5年度 学校評価（後期）まとめ

項目	●色教師アンケート項目 ●色生徒アンケート項目 ●色保護者アンケート項目		■そう思う ■ややそう思う ■ややそう思わない ■そう思わない			肯定否定割合		総合評価		
	番号	具体的な評価内容	自己評価割合 (%)			肯定%	否定%			
Ⅰ 教育目標について	①	学校経営方針に基づき、教育活動を行っている。				96	4	A		
	②	若草中学校は、常にP→D→C→Aサイクルに基づいた教育活動にとりこんでいる。				96	4	B		
	③	目指す生徒像	「自ら学び、深く考える児童生徒」を育成している。					96	4	B
	④		「心豊かで、思いやりのある児童生徒」を育成している。					96	4	A
	⑤		「健康で、たくましい児童生徒」を育成している。					93	7	B
	⑥		「意欲を持ち、最後までやり抜く児童生徒」を育成している。					96	4	B
	考察	前期と比較して総合評価は向上しており、先生方の意識の高さがうかがえる。PDCAサイクルについては意識して取り組んでいると思うが、成果として見えてこない部分から自信をもって答えられないのではないだろうか。								
改善	生徒ファーストの視点で諸活動を見直し、PDCAサイクルを意識して取組を行っていく。									
学校関係者評価委員会意見	生徒や保護者の意見からも、先生方が教育目標を標として一丸となって教育活動に取り組んでいる様子がわかる。前期よりも高評価につながっていることから、先生方の生徒を大切にす姿勢がうかがえる。									
Ⅱ 校務分掌について	①	職務内容を十分理解し、責任を持って仕事にあたっている。				100	0	A		
	②	自分の分掌と他の人の分掌との関連を考え、相互に連絡・協調している。				100	0	A		
	③	分掌の達成状況、改善点などを管理職に「報告、連絡、相談、確認」している。				96	4	A		
	④	管理場所の安全点検を行い、常に適切な安全管理に努めている。				96	4	B		
	⑤	職員会議や校内研究会に積極的に参加し、決定事項を実践している。				96	4	A		
	考察	分掌間の連携意識が高まってきている。報告・連絡・相談・確認についても分掌内で細かに確認が行われるようになってきた。施設も古く、老朽化しているので安全点検については実施時期だけでなく、常に意識して異常箇所を素早く気付けるようにしていきたい。								
	改善	全職員一斉の安全点検を学期に一度とし、特別化を図ることで点検表へのチェックを忘れずに行わせる。また、常日頃から施設内を意識して確認し、異状箇所を発見次第、管理職に報告することを習慣化する。								
学校関係者評価委員会意見	⑤の項目は、組織上かなり重要度の高い質問であるが、D評価をつけた教師が4%いる。謙遜なのかもしれないが、個人が特定できるのであればその考えを確認し、改善すべきではないだろうか。									
Ⅲ 学習指導	①	基礎・基本の定着を図る授業を行っている。				100	0	A		
	生11	先生方は、わかりやすい授業をしていると思いますか。				96	4	A		
	保11	先生方は、わかりやすい授業に努めていると思いますか。				90	10	B		
	②	生徒の思考力・判断力・表現力、学習意欲を向上させる教科指導のあり方や教育内容の工夫改善に努めている。				100	0	A		
	生14	先生方は、授業に意欲的に取り組めるように教材や教具を工夫して授業を行っていると思いますか。				96	4	A		
	保14	先生方は、お子さんが意欲を持って取り組めるような、授業の工夫をしていると思いますか。				88	12	B		
	③	研究主題を意識し、生徒に興味関心を持たせる課題設定や、めあての提示をしている。				100	0	A		
	生12	先生方は、毎回、学習の見通しが立てやすいようなめあてを示していますか。				98	2	A		
	保12	先生方の提示する「授業のめあて」は、お子さんが学習の見通しを立てることに役立っていると思いますか。				91	9	B		
	④	「学び合い」のある授業を実践している。				100	0	B		
	生13	先生方は、一人一人の考えを大切にす、学び合いのある授業を進めていると思いますか。				95	5	A		
	保13	先生方は、一人一人の考えを大切にす、学び合いのある授業を進めていると思いますか。				91	9	B		

進路指導について	⑤	少人数グループや習熟度別授業の実施、また、発展的な内容を取り入れるなど、個に応じた指導を行っている。	27	69	40	96	4	B	
	生14	先生方は、授業に意欲的に取り組めるように教材や教具を工夫して授業を行っていると思いますか。	70	27	31	96	4	A	
	保14	先生方は、お子さんが意欲を持って取り組めるような、授業の工夫をしていると思いますか。	39	52	81	88	12	B	
	⑥	指導と評価の一体化を心がけ、生徒の意欲や自信につながる評価を行っている。	35	65	0	100	0	B	
	生15	先生方は、いろいろな場面で、あなたが努力したことを認めてくれますか。	56	37	61	93	7	A	
	保15	先生方は、お子さんの努力したことを認めてくれて、さまざまな面から評価していると思いますか。	47	47	70	89	11	B	
	⑦	生徒が自らの生き方について考え、正しい職業観を身に付けることができるように進路指導を行っている。	35	65	0	100	0	B	
考察	学習指導についても前期評価より向上した項目が増えている。校内研を柱とし、教師集団が学び続けている結果と考えられる。								
改善	授業づくりは確実に進歩しているので、「学び合い」や「グループ活動」の時間を増やし、生徒同士が課題を話し合いながら解決する教材を工夫し、生徒が主体的に学びに向かう工夫をすることで、学力向上が図れると考える。成果の見える取組に向け、さらに進歩した授業をつくり上げていく必要がある。								
学校関係者評価委員会意見	生徒の評価が意外と高く安心している。先生方は授業中、誰一人取り残さないよう丁寧に説明してくれているのであろう。自己評価や保護者の評価は、テストの結果等が振るわないことが原因なのではないだろうか。保護者は授業等の評価については何を参考につけているのかわからないが、生徒が家で学校のことをよく話しているのであろう。								
IV 生徒指導・道徳指導について	①	生徒理解のために生徒とのコミュニケーションを図る努力をしている。	78	22	0	100	0	A	
	生16	先生方は、生徒の意見をよく聞き、相談に乗ってくれていると思いますか。	57	33	82	90	10	A	
	保16	先生方は、相談や悩み事について、適切に応じてくれると思いますか。	43	49	71	89	11	B	
	生17	心配ごとや相談ごと、または日常生活の中で、話ができる先生がいますか。	48	31	138	79	21	C	
	保17	お父さんは、心配ごとや相談ごと、または日常生活の中で、話ができる先生がいますか。	39	45	143	74	26	B	
	②	基本的な生活習慣、生活のルールや決まりを身につけさせる指導を行っている。	63	37	0	100	0	A	
	生8	あなたは、一日の生活のリズム（起床・就寝・食事・排泄など）がつくれていますか。	49	37	104	86	14	B	
	保8	お父さんは、一日の生活のリズム（起床・就寝・食事・排泄など）がつくれていますか。	60	28	84	83	17	A	
	③	一人一人のよさを認め合う態度、望ましい人間関係を育てる指導を行っている。	65	35	0	100	0	A	
	④	生徒支援委員会（生徒指導部会、ケース会議含む）は、組織的・計画的に運営され、有機的に機能している。	37	63	0	100	0	B	
	⑤	道徳の授業を年間計画に沿って実践し、道徳の実践力を高めるための指導を授業以外でも日常的に取り組んでいる。	37	63	0	100	0	B	
	生18	学校は、道徳教育（人間の生き方やあり方）を行い、心を育てる教育をしていると思いますか。	63	32	41	95	5	A	
	保18	学校は、道徳教育（人間の生き方やあり方）を行い、心を育てる教育をしていると思いますか。	37	56	61	93	7	B	
	⑥	不登校やいじめについて、積極的な情報収集を行い、早期発見・早期対応を意識して取り組んでいる。	62	38	0	100	0	A	
	考察	生徒指導に関しては、すべての項目で自己評価は100%が肯定的な意見となった。実際、生徒にも保護者にも誠心誠意対応する職員が多く、誰一人見捨てない意識が全職員に根付いている。反面、生徒からも保護者からも忙しそうにみられている場面が多く、気軽に話しかけづらい雰囲気があるようである。気持ちにゆとりをもって生徒に接するよう意識する必要がある。							
	改善	生徒や保護者への対応はチームで行い、一人ですべてを抱えないようにする。また、先手の生徒指導・生徒理解として何気ない日常会話を普段から行う雰囲気をつくっておくことも大切である。							
学校関係者評価委員会意見	校則の変更（くつ、靴下）について、生徒の意見を拾い上げてもらい感謝している。保護者の立場からも、時代に即したきまりへの転換はありがたい。いじめはどのように探り、どのように対応しているのか。そもそも若草中に現在いじめはあるのか。<本校の現状と対応について、委員会内で解説しました。>								
V 特	①	生徒の自主性を育成し、学級や学年、学校生活の充実を図るための指導を行っている。	52	48	0	100	0	A	
	②	さまざまな行事や活動を仕組み、達成感や成就感が満たされる内容を工夫している。	52	44	40	96	4	A	
	生19	学校の行事や生徒会の行事など、学校の行事は充実していると思いますか。	68	26	42	94	6	A	
	保19	子供たちが活動する学校の行事は充実していると思いますか。	48	45	52	80	20	B	

別活動について	③	朝読書や図書館の活用を積極的に進め、豊かな感性の育成を図っている。	44	56	0	100	0	B	
	④	充実した委員会活動や部活動を行うことができるような指導に努めている。	48	52	0	100	0	B	
	考察	1学期後半から2学期にかけて、多くの行事やその取組が行われてきたこともあり、前期評価より高評価になった項目が多くなった。コロナ禍で人との関わり方を上手に持てない生徒も多いため、各行事に期待される役割は大きいと考える。							
	改善	4年間停滞していた委員会活動を活性化させるため、生徒会本部主体になっていた活動を徐々に専門委員会に移譲していくことが求められる。 読書活動も、1年間で最も多く仕組まれている活動である朝読書を中心に、盛り上げていきたい。							
	学校関係者評価委員会意見	三恵のテニスコートがなくなってしまうと聞いている。校地内の2面だけで男女の部活動は手狭になるので、代替地の候補を探しておく必要がある。							
Ⅵ 家庭・地域との連携について	①	地域や保護者からの情報や要望を真摯に受けとめ、日々の教育活動に反映できるように努めている。	38	62	0	100	0	B	
	②	さまざまな学習活動で、地域の施設を利用したり、地域の人々に協力を要請するなど、地域連携を深めている。	37	48	11	4	85	15	B
	③	学校・学年・学級だより等の諸たよりを定期的に発行し、またホームページを活用して、学校や生徒の様子を積極的に公開している。	30	44	22	4	74	26	C
	生20	学校は、いろんなたよりのホームページなどで、出来事を積極的に連絡し、また公開していると思いますか。	58	34	62		92	8	A
	保20	学校は、各種たよりのホームページなどで、積極的に情報公開を行っていると思いますか。	53	40	61		84	16	A
考察	ホームページ上の通信は先生方の協力により、かなり充実したものになった。むしろ前期よりも活用がされていると思われるが評価が変わらないのは、もっと通信を出したいという意識の表れか。日々の連絡帳でも個々とのやり取りはされているので、かなり積極的に生徒の様子を伝えていると思う。他者と比較するのではなく、自身のペースで進めていってほしい。								
改善	ホームページを、担当に任せっきりにするのではなく、各学年や分掌でもさらに更新していく。								
学校関係者評価委員会意見	ホームページは十分充実している。安心メールへの通信の添付もよい。ホームページの更新に携わらない先生や通信を発行しない分掌の先生が、この質問だと回答しづらいため低評価につながっている可能性があるのではないかと。								
Ⅶ 自身と職場について	①	学校へ来ることが楽しかった。	30	52	19	0	81	19	B
	生1	あなたは、毎日元気に楽しく学校に登校していますか。	65	25	8	2	90	10	A
	保1	お子さんは、毎日元気に学校に通っていますか。	72	19	7	2	92	8	A
	②	授業や生徒のことなど、必要な時に職場で話げできた。	67	33	0		100	0	A
	③	子供たちに信頼される教師であった。	11	81	7	0	93	7	B
	④	教師としての力量を高めることができた。	44	56	0		100	0	B
	⑤	教師集団として、一つにまとまることができた。	26	63	11	0	89	11	B
	⑥	学校には、教育活動に必要な施設・設備が整っている	35	46	19	0	35	65	C
	生21	学校には、教育活動に適した施設・設備が整っていると思いますか。	54	35	9	2	89	11	A
	保21	学校には、教育活動に適した施設・設備が整っていると思いますか。	33	50	14	3	75	25	B
	考察	先生方の19%が学校に来ることが楽しいとあまり思っていない。仕事なので楽しんでばかりはいられないのは事実であるが、思春期の子どもたちを扱うことの難しさを楽しめるようになることややりがいも変わってくると思う。生徒、保護者は学校に楽しく通ってくれている。先生たちの頑張りのおかげだと思う。 施設設備については、不具合、異状箇所はその都度修理している。必要に応じて予算の要求もしていく。1年でだいぶ充実してきたと思うが、まだまだ自己評価は低いままである。授業参観や行事の公開等で保護者に学校を見てもらう機会が増えたことから、保護者の施設設備の回答は前期より高まった。ある設備を工夫して利用することで、同等の効果を発揮できるものもあるので、購入できるようになるまでは創意工夫を凝らしていきたい。							
改善	ライフ・ワークバランスを意識した業務改善をし、大規模な改革により業務の軽量化を目指す。 必要なものを年次計画で継続して要求していく。 各学年を中心に教室環境、フロア環境を整備する。								
学校関係者評価委員会意見	世間では教員のハードワークが叫ばれている中、勤務時間外に行っている早朝学習会の成果を挙げる先生がいる。そんな先生方に正直救われているのが現実なのだと思う。モンスターについて異論が出ていないのか、心配にもなる。								